

通学路について

中央台ハイツ在住の児童の父です。

酒々井小学校への通学路についての要望です。

現在、ナリタヤ横の歩道橋を通るルートが通学路として指定されております。この通学路ですが、距離が1.5キロほどあり、時間にして30分ほど通学にかかっている状況です。夏の暑い日には熱中症の危険があります。一年生は体力的にもとても辛そうです。途中でトイレもないので、腹痛の場合などとても不安になります。

そこで要望ですが、プリミエール脇の信号を渡るルートへ変更はできないでしょうか。中央台ハイツからだとも距離は半分以下になり、前述の不安要素は解消されます。実際に中央台4丁目の児童はこちらのルートを通学路として使っているようです。子供の健康の為なのでどうか早めの検討を望みます。よろしく願いいたします。

■回答

小学校の登下校に係る通学路は、歩道や信号の設置状況や交通量などの道路状況やそれぞれの地区の児童の人数、保護者の意見、見守りをする保護者・地域の方々の状況等を考慮し、安全と思われるルートを学校長が総合的に判断し、指定しております。

ご指摘の通学ルートについて、酒々井小学校長に確認したところ、前向きに検討したいとの回答を得ています。現在、学校とPTA会長及びPTA校外指導部が、通学路の状況を確認しているところですが、2学期開始早々、該当地区の保護者と協議する場を設けるとのことです。

今年度夏休み中に、協議の日程等について学校から連絡がございますので、その際にはご協力をお願いします。

担当課《学校教育課》